

全国学力・学習状況調査問題を踏まえた

授業改善のヒント～小学校算数編～



©県「ももっち・うらっちと仲間たち」

全国調査問題は、全学年を通じた学習指導の改善・充実を図るための参考にすることができます。今号では、**小学校算数の問題を基にした授業改善のポイント**を紹介します。

今号のポイント

数学的活動の充実

解決したことを振り返り、解決までの過程を捉え直す**数学的活動**を授業の中に位置付ける！

「事象を数理的に捉えて、算数の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行することである。」（小学校学習指導要領（平成29年告示）解説算数編 P.23参照）

学習指導要領改訂により、小・中・高等学校において**系統的に数学的活動を行うことで数学的な資質・能力を育成すること**になったんだね。

具体的にはどんな場面で数学的活動を行うのかな？

R5全国調査 3 (4) (一部改変)

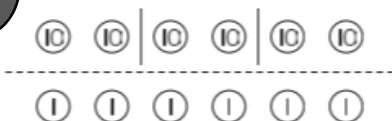
【66÷3の筆算】の**手順2**で十の位にたてた「2」は、右の式のあ、い、う、えのどの計算をした結果を表していますか。1つ選んで、その記号を書きましょう。

この問題は筆算の商の意味について、**式と図を基に捉え直す**数学的活動が設定されています。

$$\begin{aligned}
 66 \div 3 &= (60 + 6) \div 3 \\
 &= \underbrace{60 \div 3}_{\text{あ}} + \underbrace{6 \div 3}_{\text{う}} \\
 &= 20 + 2 \\
 &= 22
 \end{aligned}$$

手順2

$$\begin{array}{r}
 2 \\
 3 \overline{)66} \\
 \underline{6} \\
 6 \\
 \underline{6} \\
 0
 \end{array}$$



このような数学的活動を設定するには、どのような授業を展開すればよいのかな？

一步先へ！

〈展開例〉

図を基に考える

T：「66」を、どう分けた（教師）らいいでしょか？
 C：まず、10のかたまり（児童）で分けたらどうかな。

筆算の表し方を知る

T：図の10のかたまりが2つずつになることを筆算に表すと手順2のようになりますね。
 C：筆算の表し方が分かったぞ。

計算の意味を捉え直す

T：筆算の商の十の位は式のどの計算の結果を表していますか？
 C：式だと60÷3です。

筆算の表し方を知るだけではなく、その過程を捉え直す活動を授業に取り入れていくことが大切なんだね！「一步先へ！」って感じがするね。

どの単元で位置付けられるか、学年や校内で話し合ってみましょう！

数学的活動を位置付けることが考えられる単元

- 【1年生】：たし算、ひき算など
- 【2年生】：たし算、ひき算の筆算、九九など
- 【3年生】：かけ算の筆算、あまりのあるわり算など

- 【4年生】：わり算の筆算など
- 【5年生】：小数のかけ算、わり算など
- 【6年生】：分数のかけ算、わり算など